



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム  
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,961	0.5	299	46.4	284	44.5	156	33.2
26年3月期第2四半期	5,993	1.7	204	20.8	196	17.2	117	37.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 156百万円 (33.9%) 26年3月期第2四半期 117百万円 (36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	9.35	
26年3月期第2四半期	7.02	

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円銭		
27年3月期第2四半期	4,784		1,815		37.7	108.12		
26年3月期	4,980		1,792		35.8	106.77		

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 1,804百万円 26年3月期 1,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		700.00		8.00	
27年3月期		7.00			
27年3月期(予想)				8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	12,300	1.3	510	14.2	500	14.9	330	21.0	19.77	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	16,693,200 株	26年3月期	16,693,200 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

27年3月期2Q	株	26年3月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	16,693,200 株	26年3月期2Q	16,693,200 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢の改善が見られる一方、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による輸入価格の高騰などにより個人消費が伸び悩み、その結果、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核的な事業領域である情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の一層の普及に伴いビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックス及びタクトシステム㈱においては、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「経営支援コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が59億61百万円(前年同四半期比0.5%減)、営業利益が2億99百万円(前年同四半期比46.4%増)、経常利益が2億84百万円(前年同四半期比44.5%増)、四半期純利益が1億56百万円(前年同四半期比33.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 《IP &amp; Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」では、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、新規契約の獲得が伸び悩む一方、コスト削減に努めること等により、売上高は41億46百万円(前年同四半期比2.7%減)、セグメント利益は94百万円(前年同四半期比321.1%増)となりました。

## 《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」では、印刷及び商業印刷物の企画・制作等を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、主に受注単価の減少により、売上高は7億75百万円(前年同四半期比9.8%減)、セグメント利益は77百万円(前年同四半期比19.7%減)となりました。

## 《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」では、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を提供しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、主に㈱保険ステーションの営業拠点拡大にともなう保険契約数の大幅な増加が寄与して、売上高は10億32百万円(前年同四半期比19.2%増)、セグメント利益は1億34百万円(前年同四半期比45.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は47億84百万円となり、前連結会計年度末比1億96百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加(1億12百万円)及び有形固定資産の減少(5億34百万円)によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は29億68百万円となり、前連結会計年度末比2億19百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(93百万円)及び借入金の減少(1億37百万円)によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における少数株主持分の残高は10百万円となりました。また、純資産の残高は18億15百万円となり、前連結会計年度末比23百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し、10億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果獲得した資金は、89百万円（前年同四半期は54百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億22百万円、有形固定資産売却損1億56百万円及びその他の流動資産の増加額1億53百万円等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果獲得した資金は、3億16百万円（前年同四半期は72百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27百万円、有形固定資産の売却による収入3億50百万円及び無形固定資産の取得による支出12百万円等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、2億93百万円（前年同四半期は2億56百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億31百万円及び配当金の支払額1億33百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	894,390	1,007,047
受取手形及び売掛金	1,666,653	1,570,131
商品及び製品	58,949	99,296
仕掛品	61,892	65,732
原材料及び貯蔵品	8,338	7,692
その他	823,361	988,893
貸倒引当金	△16,584	△16,408
流動資産合計	3,497,001	3,722,385
固定資産		
有形固定資産	685,466	151,055
無形固定資産		
のれん	71,790	61,729
その他	110,093	100,416
無形固定資産合計	181,883	162,145
投資その他の資産		
その他	682,040	818,619
貸倒引当金	△65,838	△69,972
投資その他の資産合計	616,202	748,646
固定資産合計	1,483,552	1,061,848
資産合計	4,980,553	4,784,233
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269,173	1,175,260
短期借入金	269,792	266,176
未払金	788,510	857,591
未払法人税等	83,893	27,044
賞与引当金	73,881	69,899
役員賞与引当金	24,350	16,850
その他	263,903	299,536
流動負債合計	2,773,505	2,712,359
固定負債		
長期借入金	240,676	106,678
退職給付に係る負債	116,345	117,206
その他	57,766	32,520
固定負債合計	414,787	256,405
負債合計	3,188,293	2,968,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,197,621	1,220,121
株主資本合計	1,782,329	1,804,829
少数株主持分	9,930	10,639
純資産合計	1,792,259	1,815,468
負債純資産合計	4,980,553	4,784,233

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,993,274	5,961,727
売上原価	4,755,364	4,491,606
売上総利益	1,237,909	1,470,120
販売費及び一般管理費	1,033,644	1,171,028
営業利益	204,264	299,091
営業外収益		
受取利息	118	163
違約金収入	3,700	10,354
その他	4,370	4,446
営業外収益合計	8,190	14,964
営業外費用		
支払利息	7,170	6,558
持分法による投資損失	4,713	22,161
その他	3,649	857
営業外費用合計	15,533	29,577
経常利益	196,921	284,478
特別利益		
投資有価証券売却益	12,886	—
持分変動利益	—	9,728
特別利益合計	12,886	9,728
特別損失		
貸倒引当金繰入額	24,650	—
固定資産売却損	27	156,278
減損損失	28,579	5,267
その他	5,470	9,845
特別損失合計	58,726	171,391
税金等調整前四半期純利益	151,081	122,815
法人税、住民税及び事業税	15,848	26,058
法人税等調整額	18,197	△59,997
法人税等合計	34,045	△33,939
少数株主損益調整前四半期純利益	117,036	156,754
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△132	709
四半期純利益	117,169	156,045



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,036	156,754
四半期包括利益	117,036	156,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,169	156,045
少数株主に係る四半期包括利益	△132	709

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	151,081	122,815
減価償却費	72,530	54,745
減損損失	28,579	5,267
のれん償却額	10,060	10,060
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,420	3,957
賞与引当金の増減額(△は減少)	△451	△3,982
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,000	△7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,825	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	861
受取利息及び受取配当金	△144	△188
支払利息	7,170	6,558
違約金収入	△3,700	△10,354
投資有価証券評価損益(△は益)	5,460	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,886	—
持分法による投資損益(△は益)	4,713	22,161
持分変動損益(△は益)	—	△9,728
有形固定資産売却損益(△は益)	27	156,278
売上債権の増減額(△は増加)	351,301	96,522
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,583	△43,540
未収入金の増減額(△は増加)	17,159	△32,346
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△88,615	△153,638
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△191,533	△120,284
仕入債務の増減額(△は減少)	△214,766	△90,875
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△47,162	121,294
その他の固定負債の増減額(△は減少)	2,000	△3,300
その他	△1,352	△719
小計	130,298	124,066
利息及び配当金の受取額	143	180
利息の支払額	△7,370	△6,282
法人税等の支払額	△71,690	△82,275
違約金の受取額	2,965	53,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,346	89,347

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,307	△27,299
有形固定資産の売却による収入	—	350,000
無形固定資産の取得による支出	△22,804	△12,339
投資有価証券の売却による収入	24,282	—
保険積立金の解約による収入	109,060	—
貸付けによる支出	—	△2,500
貸付金の回収による収入	4,016	9,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,247	316,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△65,000	△5,615
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,998	△131,998
社債の償還による支出	△300,000	—
配当金の支払額	△133,487	△133,442
リース債務の返済による支出	△21,280	△22,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,766	△293,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130,170	112,657
現金及び現金同等物の期首残高	996,856	894,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	866,686	1,007,047

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,260,376	859,401	865,696	5,985,474	7,800	5,993,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,769	4,606	3,341	15,717	—	15,717
計	4,268,146	864,007	869,037	6,001,192	7,800	6,008,992
セグメント利益	22,499	96,106	92,855	211,462	2,497	213,959

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	211,462
「その他」の区分の利益	2,497
セグメント間取引消去	365
のれんの償却額	△10,060
四半期連結損益計算書の営業利益	204,264

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23,307千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアの減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5,271千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,146,462	775,590	1,032,090	5,954,143	7,583	5,961,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,849	4,063	2,991	19,904	-	19,904
計	4,159,311	779,654	1,035,082	5,974,048	7,583	5,981,631
セグメント利益	94,736	77,132	134,848	306,717	3,159	309,876

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	306,717
「その他」の区分の利益	3,159
セグメント間取引消去	△724
のれんの償却額	△10,060
四半期連結損益計算書の営業利益	299,091

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5,267千円であります。